

磐田市立総合病院広報誌

けあき

医療の原点は思いやり

2020
NOVEMBER

4
vol.



特集

希望に満ちた人材を育てる教育研修室



責任感を育む

を伝え、地域医療への使命感、

「医療の原点は思いやり」の理念

研修棟新設を機に、より充実した内容で研修医、看護師等を指導

磐田市立総合病院は「医療の原点は思いやり」の理念のもと、臨床研修医や看護師等を育成しています。研修担当者だけでなく、現場の職員も丁寧に指導し、雰囲気良く充

実した研修ができると好評です。2020年には、研修棟を新設し、シミュレーションルームも完備。希望に満ちた人材の育成に注力しています。

厳しいけれど、楽しく。世界標準を身に着けてほしい

武道や芸道の強さや美しさの基本には「型」があります。臨床医学にも、医師として身に着けるべき医療面接や身体診察など、基本となる「型」があると考えています。初期研修医には、自己流ではなくグローバルスタンダードを学ぶことで、どこでも通用する医師に育ってほしいと願っています。厳しいけれど、楽しく。自らの成長を実感できる研修を提供します。

当院は患者さんの数が多く、指導医の質・数ともに充実し

ており、臨床の現場で的確に指導できるのが一番の特色です。また、教育専任医師や専門医が教育カンファレンス、レクチャーや実技研修を頻回に行い、バランスの良い指導を心がけています。

研修医のニーズに沿った柔軟性のある研修プログラムにも定評があります。2年次は、超音波や病理、家庭医プログラムなどが選べるほか、耳鼻科、形成外科など2週間単位で

学べるプログラムも準備しています。シミュレーションルームで器具を使った練習もできるようになり、研修医の役に立つと期待しています。

「技術を持って、新しいことに挑戦する。チャレンジングスピリットを持った医師」になってほしいと願っています。そのためには基礎が大切です。心優しく、患者の不安や苦痛に寄り添えるよう、医師の基本を身に付けてほしいと思います。



副病院長兼教育研修室長

寺田 雅彦

目標を立て、自分から学ぶ人を育てたい

私たちは「社会の変化に対応できる医療・看護をめざし、質の高い看護サービスを提供できる看護職員を育成する」を目標に掲げています。1年目の約3か月間はローテーション研修として、内科系、外科系、手術室、外来等で基本的な看護技術や日常業務のほか、各部署の専門性を学ぶ期間です。



その後は、長期研修として各部署に配属されます。広い選択肢の中で、いろいろな経験を積んでほしいと思っています。

毎年、約20～30人の新卒看護師が入职しています。当院で実習、インターンシップ説明会やホームページを見て、当院でなら成長できると感じてくれているようです。目標を立て、自ら努力や研さんができる人、自ら学んでいく人を育てていきたいと思っています。



副看護部長

大石 由美子

このように当院は医師や看護師をはじめとする医療従事者の積極的な育成を行っております。

患者さんには安心して検査や治療を受けていただけるよう十分に配慮してまいりますので、将来の地域医療を担う医療従事者を病院スタッフと一緒に育てるお気持ちで、温かい目で見守っていただきますよう、ご理解・ご協力のほどお願いいたします。

研修で学んだ「症状から病名を推察する力」を活かしたい

呼吸器内科医師 平松 俊哉

2016年に浜松医科大学を卒業し、当院で初期研修を受けました。2年間の学びの中で最大の魅力は、週2回の新患カンファレンスでした。実際に経験した患者さんの病気をもとに研修医同士で議論し、先生にご指導を頂き、症状から病名を推察する力が身につきました。

初期研修、浜松医科大学での半年間の内科研修を経て、現在内科専攻医として呼吸器内科で勤務しています。呼吸器内科を受診する患者さんに肺疾患以外の思わぬ病気が隠れている場合も少なくはないため、初期研修で培った内科医として考える力が生きています。



膵臓や胆管疾患などの治療に 力を発揮する超音波内視鏡

消化器内科 科長 金子淳一



超音波内視鏡検査
をする金子医師

超音波内視鏡について

膵臓や胆管・胆嚢に関わる疾患に対して、当科では超音波内視鏡(EUS)や内視鏡的逆行性胆道膵管造影(ERCP)を用いて診断・治療を行っています。

EUSは先端に超音波装置が付いた内視鏡です。胃や十二指腸の内側から超音波を発し、近接する膵臓や胆管・胆嚢などを観察できます。EUSは微小な病変の観察に力を発揮します。また、専用の針で病変部の組織採取ができ、当院でも日常診療に取り入れています。

膵がんをより小さく見つけるためには

膵がんは見つかりにくいがんの代表で、小さな段階で見つけるためには無症状での精密検査が必要で

す。当院では2017年から「磐田膵がん早期診断プロジェクト」を開始しました。膵がんのリスク(家族歴、喫煙・飲酒、糖尿病、肥満、慢性膵炎、膵嚢胞)を2つ以上有する方に、かかりつけ医で腹部超音波検査を実施、膵嚢胞や膵管拡張がある場合は当院で超音波内視鏡などの精密検査を行います。これにより、以前より早い段階で治療する機会が増えていますが、まだ十分とは言えません。今後さらに尽力してまいります。

おわりに

当院は鈴木昌八病院長をはじめ、経験豊富な胆膵外科医が多く在籍しているほか、経口胆道鏡Spyglass.DS(Boston Scientific社)など、医療機材も充実しています。私も中東遠地域の胆膵診療に貢献していきたいと考えております。よろしく願いいたします。



消化器内科 科長 金子 淳一

自治医科大学 卒業年 2008年

経 歴

2008年3月 自治医科大学医学部医学科 卒業
2008年4月 静岡県立総合病院 初期研修
2010年4月 浜松市国民健康保険佐久間病院 内科
2012年4月 公立森町病院 内科
2015年4月 市立島田市民病院 消化器内科
2018年4月 静岡県立静岡がんセンター 内視鏡科
2020年4月 現職

認定理学療法士(呼吸)は、様々な呼吸器疾患や呼吸障害に対する理学療法の専門的な知識と技能を修得し、良質なサービスを提供するための資格です。日本理学療法士協会が認定する資格で、当院リハビリテーション技術科には、5名が在籍しています。

私たちは、呼吸に障害がある患者さんに、呼吸練習や運動療法、日常生活動作練習などを行います。呼吸状態の不安定な集中治療室に入院している患者さんや小児の患者さんの治療も行っています。呼吸理学療法は、疾患や重症度、患者さんの生活スタイル等によって方法や負荷が異なるため、患者さんにとって最適なリハビリテーションが実施できるように常に心掛けています。

呼吸障害の患者さんは動作に伴い苦しくなることも多いですが、退院後にその人に適した生活が送れるように寄り添ってサポートしています。呼吸器疾患を既往症にお持ちの方も多いため、患者さんやご家族の力になれるよう、取り組んでいきたいと思っています。



集中治療室で呼吸リハビリテーションを行う認定理学療法士



解説! MRI(脳・脳血管)のおはなし

放射線診断技術科

Q どのような検査?

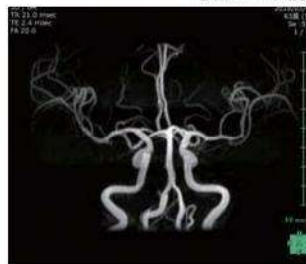
A 強力な磁石でできた装置の中に入り、磁力と電波を使って身体の様々な部分を画像化する検査で、「脳と血管」の検査時間は20分程度です。

Q 何がわかるの?

A 脳腫瘍、脳梗塞、脳出血などの病変の有無が分かります。さらに、その大きさや発症時期を推測することができます。また、無症状で行われる脳ドックでは、脳卒中の危険のある病変を早期に発見することができます。隠れ脳梗塞、微小出血はもちろん、造影剤を使用することなく脳血管を全体像として描けるため、体に大きな負担をかけず、脳動脈の狭窄、未破裂動脈瘤、脳動静脈奇形の有無を調べることができます。



脳のMRI画像



脳血管のMRI画像



3テスラMRI装置

Q 注意点は?

A 検査室内には金属類の持ち運びができないため、事前に取り外しをお願いします。体内に金属が埋め込まれている方は、検査時に確認させていただきます。

当院健診センターでの健康診断でも受けられる検査です。詳しくはホームページをご覧ください。

臨床検査技術科 細菌検査室



安全キャビネット内で検体を培地に塗布している技師

感染症は、病気を引き起こす微生物(=病原体)が体内に侵入することで症状が出る病気です。細菌検査室では、患者さんから採取した検査材料(喀痰や尿、便、血液など)から病原体を見つけ出し、どのような抗菌薬が有効かについて調べています。空気感染を起こす結核菌、食中毒菌やインフルエンザウイルスなど病原体そのものを取り扱いますので、「自分自身が感染しない」、「病原体を検査室外に持ち出さない」ために、部屋全体を陰圧に保ち、さらに安全キャビネット内で作業し、病原体を暴露しないように配慮しています。また、検査中は常にガウン・

手袋・マスクを着用し、注意して業務を行っています。

早く治療方法を決めるために病原体そのものを発育させる培養検査に加え、迅速感染症検査を利用し、病原体検出時間の短縮に取り組んでいます。迅速感染症検査のPCR検査や抗原検査は、新型コロナウイルス関連の報道で、大きくクローズアップされました。PCR検査は、病原体が持つ特定の遺伝子を解析する検査方法で、抗原検査よりも検出感度が高く、当検査室では、新型コロナウイルス以外にも結核菌やインフルエンザウイルス等の呼吸器感染症にも利用しています。

内視鏡の清浄度調査や冷却塔水のレジオネラ検査等を定期的に行い、院内の医療環境情報を関係部門に提供したり、抗菌薬が効かない薬剤耐性菌等を見つけ出し、感染制御チーム(ICT)や抗菌薬適正使用チーム(AST)と連携し、院内感染対策も担っています。

院内の病原菌検出状況を最も早く知ることができるのが細菌検査室です。今後も患者さんの治療に有用な検査情報を迅速かつ的確に提供できるよう努めていきたいと思ひます。



密閉された新型コロナウイルスの検体をPCR装置に装填している技師

院内日記

磐田市立総合病院ニュース

磐田市立東部小学校で出前講座を開催しました!

9月2日(水)、磐田市立東部小学校で、約60名の保護者や教職員を対象に、感染症予防のスペシャリストである土屋大樹感染管理認定看護師が出前講座を行いました。

テーマは「予防は手洗いから!!正しい手洗い方法を知っていますか?」。新型コロナウイルス感染症が世界中に蔓延する中、手洗いの重要性が再認識され、関心が高まっています。また、今年の冬には新型コロナウイルスだけでなく、インフルエンザウイルスやノロウイルス等の胃腸風邪感染対策も例年以上に重要となります。これらの感染症予防の基本である「手洗い」及び「マスク」の必要性について説明しました。

学んだことを家庭や学校で共有し、今後の感染対策に活用していただきたいと思います。



助産師育成コース超音波診断技術実習が始まりました!

今年度も浜松医科大学大学院医学系研究科看護学専攻助産学分野(助産師養成コース)1年次生5名の超音波診断技術実習が始まりました。超音波検査は助産師にとって安全な出産に導く助産援助技術を実践するための重要な診断技術の一つです。

当院の臨床検査技師は、実習にきた学生さん達が、将来、妊婦さんに心から寄り添える助産師になってもらえるよう、全力でサポートしています。



地域住民の学びの場

『第17回市民公開講座』を開催しました!

9月5日(土)、アミューズ豊田で「大切な腎臓を守るために」をテーマに市民公開講座を開催しました。「Withコロナ」時代の新しい生活様式の中で、ソーシャル・ディスタンスを保った座席配置とし、深澤洋敬腎臓内科部長が「腎臓と病気とのかかわり」について、飯野和美糖尿病・内分泌内科部長が「糖尿病から腎臓を守る」についてお話ししました。会場の外では個人用透析装置の展示ブースを設け、多くの方々が臨床工学技士の説明に耳を傾けていました。

当日は県のガイドラインに従い、入館時の体温測定や手指消毒、問診票の提出、参加人数を100名に制限するなど十分な感染対策を行った上で開催しました。「Withコロナ」の中で、地域への医療情報発信の新しいあり方や方法を考えていくつもりです。ご協力よろしくお願いします。



『命の授業』開催!

9月9日(水)、福田中学校で、当院助産師2名が1年生145名を対象に出前講座「命の授業」を行いました。「新しい命の誕生」、「お産のビデオを観てみよう」、「妊婦体験をしてみよう」、「将来について考えよう」の内容で、助産師として毎日のように赤ちゃん誕生に立ち会い、その中で感じている「命」について伝えました。それに答えるように生徒さんたちも真剣に聴いていました。この授業を通じて、命の尊さや成長の振り返り、そして親への感謝を感じていただけたら、うれしいです。



作ってみよう!

ハッピーレシピ

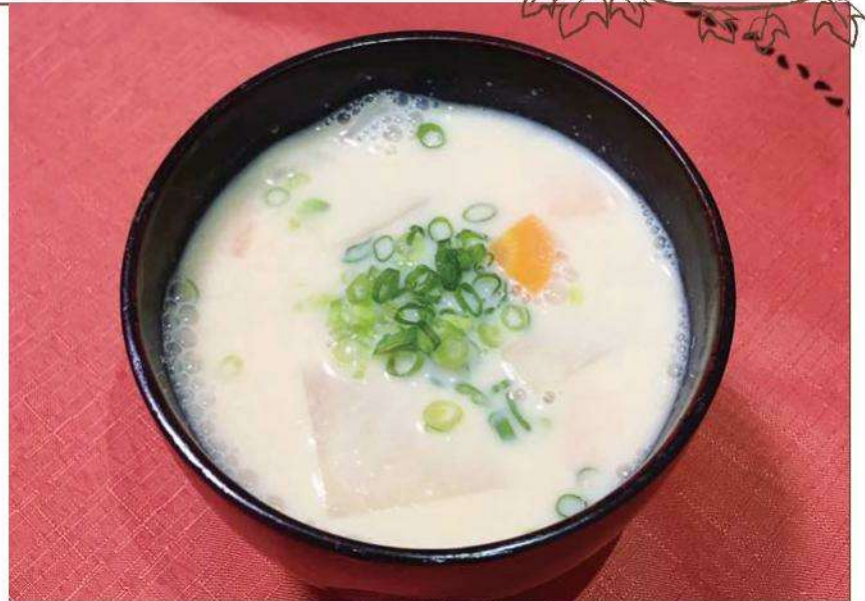
NO.4

1人前当たり

エネルギー	65kcal	炭水化物	10g
たんぱく質	3.5g	食塩相当量	1.1g
脂質	1.4g	食物繊維	2.6g

材料 4人分

- ・大根 …………… 4cm (160g)
- ・にんじん …………… 1/2本 (80g)
- ・ごぼう …………… 1/2本 (80g)
- ・だし汁 …………… 360ml
- ・みそ …………… 大さじ2 (36g)
- ・無調整豆乳 …………… 160ml
- ・しょうが …………… 1/2かけ (5g)
- ・万能ねぎ …………… 少々



具材たっぷり豆乳しょうがみそ汁

作り方

- ① 大根、にんじんはいちょう切りにする。ごぼうはささがきにして水にさらし、水気をきる。
- ② しょうがはすりおろす。万能ねぎは小口切りにする。
- ③ 鍋にだし汁、①の具材を入れ、やわらかくなるまで煮る。
- ④ みそを溶き入れ、豆乳とすり下ろしたしょうがを加える。おわんによそい、ねぎを散らす。

身体を温める作用のあるしょうがを使った寒い季節にぴったりのおみそ汁です。さつま芋や里芋、きのこなど具材を変えても◎。
豆乳をいれることでまろやかな味わいになります。沸騰させると分離してしまうため、豆乳をいれたら弱火でゆっくり温めましょう。
豆乳やしょうがの風味で、みその量が少なめでも美味しくいただけます。

こんな意見をいただきました

いただいたご意見

Wi-Fiが使用できないので、早急に検討をお願いしたいです。

ご意見ありがとうございます。
まずは、健診センターにWi-Fiを導入いたしましたので、ご利用ください。
今後は、病院内のWi-Fiについても導入できるように努めてまいります。

対応



磐田市立総合病院

〒438-8550 静岡県磐田市大久保512番地3

TEL:0538-38-5000 FAX:0538-38-5050

<https://www.hospital.iwata.shizuoka.jp>



ホームページ
はこちら



インスタグラム
はこちら



フェイスブック
はこちら